



平窪の学舎



第31号

「陶芸教室」～職人さんから伝統工芸品を学ぼう～（6年生）

1月13日(水)、6年生が、伝統的工芸品産業振興協会の方々にお越しいただき、「陶芸教室」を行いました。福島県の伝統工芸品である「大堀相馬焼」について教えていただき、「青ひび」や「二重焼」など相馬焼の特徴を知ることができました。その後、器の製作体験を行いました。職人さんから作り方の説明を受けた後、児童それぞれが、日常で使用するための湯飲み茶碗やコーヒーカップ、皿などを作り始めました。粘土で、底になる部分を円形につくり、その周りにひも状に伸ばした粘土を巻き上げるようにして積み上げ、指先で平たく伸ばしながら形を作っていました。粘土の感触を味わうとともに、厚さやゆがみに気をつけながら、思い思いの作品を作りあげました。児童の作品は職人さんに持ち帰っていただき、乾燥・うわぐすり塗り(色づけ)・窯での焼きあげを行っていただきます。子どもたちは、自分の作品がどのように焼きあがってくるか、とても楽しみにしています。卒業の記念の品(器)にもなると思います。



全校学活「感染症(新型コロナウイルス)の予防」

1月20日(水)、全校学活を実施し、「感染症の予防」について学習しました。初めに、テレビ放送で、校長から、新型コロナウイルス感染症について話しました。本校児童の合い言葉であり、行動目標である『気づく・考える・行動する』が感染予防にも大切であることを再確認し、自分の命を守るために、「危険を予測する能力」と「危険を避ける能力」を一人一人が高めていこうと呼びかけました。次に、養護教諭から、感染を予防する具体的な行動について、プレゼンテーションソフトを使ってわかりやすく説明しました。最後に、各学級で予防策について話し合いました。

ご家庭でも、感染予防とお子さんへの指導を引き続きお願いいたします。



